

小川道場支援会通信

多くの才能ある子どもたちに未来を。

2014

vol. 5



一道場長挨拶

謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。
皆様には健やかに初春をお迎えあそばされましたこととお喜び申し上げます。深くおかげ様にて私ども一同も無事に越年いたしました。本年もなお一層のご厚誼のほどお願いいたします。

昨年に於きましては、小川道場にとっても実りある年となりました。先ず5月5日の全国少年柔道大会では全国大会初出場という中、小川道場が少年柔道において日本一となりました。創設8年目に於ける栄冠はあつと言う間に達成したと感じました。これも子供達の日頃からの弛まぬ努力の結晶だと思っています。

当道場OB小川雄勢(修徳高校2年生)・荒谷莉佳子(帝京高校1年生)が関東高校柔道選手権大会で男子無差別級、女子+78kg級で優勝しました。全国高等学校柔道選手権大会(インターハイ)では小川雄勢が東京都代表で団体戦3位、個人戦出場、更に2013年東京国体柔道競技少年男子の部代表選手として第3位。初の男女関東チャンピオン、インターハイ・国体選手を輩出する道場と成長を遂げました。これも皆様の日頃からのご支援があったからこそ実現したと確信しております。

さて、6年後の2020年に夏季オリンピックが東京開催

に決定しました。日本全土がスポーツにおいて盛り上がりを見せています。柔道に於いては高校生世代が年齢的に該当するとの事で高校柔道にスポーツがあてられています。昨年の国体では当道場OBの小川雄勢が注目されました。その時の結果はさておいてこの期待を追い風として1つ1つステップアップしていく事と信じています。小川道場の開設目的の1つである世界で活躍する選手の育成が現実味を帯びて参りました。小川道場支援会には湘南発世界の人材育成としてなお一層のご支援ご鞭撻をうけ賜りたいと存じます。
私自身も昨年は道場指導の他、レスラー業、タレント活動と充実した1年を送りました。本年も引き続き活動していきたいと思っています。小川道場とは別に小川直也個人にも応援の程宜しく願います。
最後になりますが、本来なら年末にこの冊子を送る時期だったのですが、諸事情により新年号になりました事ご了承下さい。昨年末の小川道場支援会の会員様にバナーカードを製作致しました。ご愛着して頂ければ幸いです。
夏以降(9月から)の子供達の活動報告は冊子にてお楽しみください。

＼ 秋の大会 目白押し! ／

秋の
第1弾!

春の全国少年柔道大会に続く
全国マルちゃん杯!!

平成25年度

マルちゃん杯 全日本少年柔道大会

平成25年
9月16
祝・月

於・東京武道館

大会結果

祝・準優勝!

春全国大会に続いての栄冠はあと1歩及ばず...

団体戦小学生の部

- 1回戦 津沢柔道
小川道場 ○3-0× スポーツ少年団
(富山県)
- 2回戦 板野町
小川道場 ○3-0× 柔道教室
(徳島県)
- 3回戦 鶴田町
小川道場 ○1-0× 柔道少年団
(青森県)
- 準決勝
小川道場 ○1-1× 松前柔道塾
(東京都)
- 決勝
小川道場 ×1-2○ 朝飛道場
(神奈川県)



支援会: 右から道場長・今松夫氏 支援会会員・瀬戸亜香音6年生・佐藤涼火6年生・猪熊友海6年生・平野友萌5年生・小川剛生6年生・関野恵太郎5年生・一杉師範

本日優秀選手賞に選ばれた
小川剛生・6年生
(支援会会員でもある祖父と)

試合後(表彰式後)の 舞台裏



応援に駆け付けた仲間とご父兄さまに御礼



試合後の総括 反省会ではありません(笑)



道場長から
今日の試合で得た経験が
いかに素晴らしいもので
あるか...

一杉師範からも総括。



OB小川雄勢・古川隆浩(修徳高校2年生)も
応援に駆け付けました。
彼らも6年前にこの大会に出場しました。
小川道場を始めて全国の舞台に導いた2人です!
しかし、今日は荷物(メダル・トロフィー)持ちです。(笑)



秋の
第2弾!

醍醐杯全国錬成!

第18回

醍醐敏郎杯 全国柔道錬成大会

平成25年
11月24日

於.松本市総合体育館

準優勝!

高学年初の栄冠まで1歩及ばず...



高学年代表選手

選手:写真右から先鋒6年生小川剛生(カリーゴウ)・次鋒5年生平野友萌(ヒノ ユモ)・
中堅6年生猪熊友海(イノマ ユカイ)・副将6年生佐藤涼火(サトウ リョウカ)・大将5年生関野恵太郎(セノ ケイタロウ)

大会結果

小学生の部	
2回戦	新潟市北部柔道クラブ (新潟県)
小川道場 ○4-0×	
3回戦	柔整会柔道教室 (福井県)
小川道場 ○4-0×	
4回戦	白根柔道連盟 鳳雛塾 (新潟県)
小川道場 ○3-2×	
準々決勝	誠心館道場A (長野県)
小川道場 ○4-1×	
準決勝	吉田道場 (東京都)
小川道場 ○4-1×	
決勝	春日柔道クラブA (東京都)
小川道場 ×1-1○	

大会結果

第3位!

大会3連覇成らず...



低学年代表選手

選手:写真右から先鋒1年生堀悠華(ホリ ユウカ)・次鋒1年生平野匠啓(ヒノ ショウケイ)・
中堅3年生猪熊天(イノマ テン)・副将4年生玉代勢将斗(タマヨセ ショウト)・大将4年生岡健(オカ ケン)

ベスト8!

大健闘!! 大会初の8強入り!!!



中学生代表選手

選手:写真右から先鋒2年生谷竜太(タニ リョウタ)・次鋒3年生猪熊自然(イノマ ジヤク)・
中堅3年生藤本一樹(フジモト カズキ)・副将2年生平野敦聖(ヒノ アツシ)・大将3年生玉代勢将太(タマヨセ ショウタ)

大会結果

中学生の部	
1回戦	学校法人桜丘学園 桜丘中学校 (愛知県)
小川道場 ○4-0×	
2回戦	上田市立第一中学校A (長野県)
小川道場 ○5-0×	
3回戦	文京区立第一中学校A (東京都)
小川道場 ○3-1×	
4回戦	田中鎮正塾 (石川県)
小川道場 ○2-1×	
準々決勝	川口市 柔道連盟クラブA (埼玉県)
小川道場 ×1-3○	

柔道をやって、社会を引っ張る人になってほしい。
それが私の夢ですね。



校祖 中川よし先生像

第5回目

インタビュー特別編

大森淳司

修徳高等学校 高等部・中等部柔道部監督

Message!

今回のインタビューは特別編です。東京の下町、葛飾区青戸にある学校法人修徳学園「修徳中学校・高等学校」には小川道場のOB2人が入学し、柔道部員として活躍しています。2人を指導されているのが大森敦司監督(39)。昨年はインターハイで団体3位に入るなど、柔道部を飛躍的に成長させています。小川道場と関わりの深い大森先生に、少年・学校柔道のあり方から指導方針まで思いの丈を語っていただきました。



——小川道場の卒業生を預かるようになった経緯から教えてください。
大森先生 小学校の時からよく稽古に来ていただいていた。そういつたご縁があつて、中学校2年の時から小川(雄勢)君が転校して入学という形ですね。私はそんなに大きく構えるより、来た子供さんを育てるというスタンスなんです。来れば普段通りの稽古するという形を続けています。

——道場主とは以前からお知り合いですか？

大森先生 私の恩師が明治大学出身でして、私も高校時代、明治大学

でよく稽古させてもらいました。小川先生はそのころからスーパースターでしたから、よく存じ上げておりました。

——先生の指導においてのモットーは？

大森先生 やはり、武道の原点である「礼」、それに嘉納治五郎先生の言われた社会に貢献できる人材の育成ですね。

——修徳高の柔道部は飛躍的な成長を遂げられていますね。2013年は団体でインターハ



昨年のインターハイでは優勝候補の東海大浦安高校を破る殊勲をあげる采配を見せた大森監督

イ初出場で3位、個人でも国体出場など成績を上げています。一方で人材育成の両立は大変でしょうか？

大森先生 もちろん、試合で勝ったという思いはありますが、自分の中では「勝利至上主義」ではなく「勝利追求主義」でいきたい、勝つことを追いつめていくという形でやっています。強ければ勝つし、負ければ弱かったということですので、それまで最善と尽くしてやっていたこと。部としては10年、20年経った時に本当にいい仲間、一生付き合っていける仲間ができればいいなと。あの時をこえたかったと振り返られる仲間を作ってほしいですね。

——勝利至上主義をとらないという点は道場主の方針と全く同じですね。小川道場からは雄勢選手、吉川隆治選手の2人がお世話になっております。2人にはどんな指導を？

大森先生 2人に限らず、全員そうですが、個人との対話を徹底して、目標設定をして、目指すところを決めるということをやっています。目標には柔道の話もあり、生活面のこと、授業のこと、ご飯のこともあったり、いろいろな面で話をします。

——ご自宅で生徒と一緒に生活されています。

大森先生 私は彼らに限らず、全員私の家族、子供だと思っています。親子さんには厚かましいかもしれませんが、自分が自分の子供と接するような会話を心がけています。

——修徳高校は文武両道を目指していると思います。

大森先生 高校生の本分として当然、勉強は優先されます。勉強をしつかりやることで柔道にも反映されますから。各授業の先生の話を聞き、力を養えば、柔道の理解力につながり、さらに成長できます。1000点をとれ、ということではなく「やるべきことは大切にやる」という立場で、勉強の時間も大切にしています。



小川道場OB2人が在学中2年生

——下町の葛飾区内の学校ですが、修徳高校のイメージは以前よりはるかに上がっています。

大森先生 今までは何でも「よしよし」というところもありましたが、当たり前前のことをきちんとしているという事です。クラブ活動だけではなく、校則、生活態度も厳しく指導しています。勉強、生活、クラブと三位一体でやっているとこです。

——ただ、このところ、柔道のイメージはあまり良くないです。実際、現場で柔道を指導される立場ではどう考えられていますか？

大森先生 これはこの前も子供たちには話したことなんです。社会の流れがそうになっていますが、決して柔道が悪いということではありません。自分たちは好きでやっていますし、柔道を信じています。社会の情勢に流されることなく、やっていけばちゃんと生き残っていくと思っています。私が考えていることは、日本は柔道の創始国なので学ぼうという姿勢に弱点があるのではないのでしょうか。今まで「これでいいんだ」と思っていてやってきたことが社会で受け入れられなくなっているの、他競技や外国、いろいろなところから謙虚に学ぼうという姿勢が大切だと思っています。

——最後に先生ご自身の目標は？

大森先生 子供たちによく話しているのは、これだけ厳しい練習を積んでいるのも、彼らに日本を引っ張っていつてもらいたいということなのです。「君はみずほ銀行の頭取に」「君はトヨタの社長に」などとあえて、そういうことも言っています。彼らがそうなるんだとイメージできればと。柔道をやって、社会を引っ張る人になってほしい。それが私の夢ですね。



昨年の2013年東京国体柔道競技東京都少年チームのコーチを務める

小川道場OBの近況報告

(2013年7月~12月)

小川 雄勢 (修徳高校2年生)

2013北九州総体 第62回全国高等学校柔道大会(インターハイ) 平成25年8月7日(水)~11(日) 於:福岡県市民体育館



▲小川道場初のインターハイ選手

◀団体戦第3位入賞・
優勝候補東海大学浦安高校を破る
健闘見せる



個人戦も東京都代表で+100kg級で出場▶

3位入賞

スポーツ祭東京2013 第68回国民体育大会 柔道競技

平成25年10月5日(土)~7日(月) 於:東京武道館



▲東京都少年の部大将で出場

◀小川道場初の国体選手

準決勝千葉県戦...ここで敗れるも
敗者復活戦の京都府に勝って第3位入賞▶



3位入賞

他の門下生OBの健闘祈る! by 小川道場支援会一同

小川道場支援会(サポーター・カンパニー)

小川道場 活動報告近況

平成25年度
**秋の錬成大会 岡田弘隆杯争奪
つくばユナイテッド少年柔道大会**
平成25年7月28日(日) 於.筑波大学武道館 柔道場



高学年の部
優勝!
低学年の部
第3位!

平成25年度
全日本少年少女武道錬成大会
平成25年8月4日(日) 於.日本武道館



高学年の部
敢闘賞!

平成25年度 第38回
関東中学校大会
平成25年8月9日(金) 於.山梨県小瀬スポーツセンター



神奈川県代表
個人戦
-81kg級出場
玉代勢将太

第12回
関東親善柔道大会
2013年8月18日(日) 於.取手市体育館



高学年の部
優勝!

平成25年度 第10回
全国小学生学年別柔道大会
平成25年8月9日(金) 於.山梨県小瀬スポーツセンター



神奈川県代表
【写真左から】
個人戦
5年生男子+50kg級
関野恵太郎
5年生女子+45kg級
平野友萌
6年生女子+45kg級
瀬戸亜香音

第43回
湘南地区柔道段別選手権大会
平成25年9月29日(日) 於.大和スポーツセンター



大人も負けてません!(笑)

第7回
VIVA JUDO!杯 小学生団体柔道大会
平成25年11月3日(日) 於.東京武道館



**第3位
入賞!**

平成25年度 第12回
**北関東道場対抗
蓮見杯少年柔道大会**
平成25年10月27日(日) 於.埼玉県立武道館



団体戦
高学年の部・低学年の部
第3位入賞!
中学生個人戦 中学男子 軽量級
平石悠樹 第3位入賞!
女子の部
岡崎みゆ 第3位入賞!

第11回
太田市近接少年柔道大会
平成25年11月10日(日) 於.太田市武道館



低学年の部
優勝!
大会3連覇!

**小林信雄杯争奪 第39回
石下少年柔道大会(茨城県)**
平成25年11月17日(日) 於.常総市石下総合体育館 メインアリーナ



小学生
高学年の部
準優勝!
小学生
中学年の部
準優勝!

第6回
筑波大学少年柔道錬成大会
平成25年12月7日(土) 於.筑波大学武道館 柔道場



小学
5年生の部
準優勝!
1年生の部
第3位入賞!

第13回
**古河市近隣柔道
スポーツ少年団交流総和大会**
2012年12月8日(日) 於.広域中央運動公園総合体育館



少女の部 **優勝!**
高学年の部 **準優勝!**
低学年の部 **準優勝!**

第4回
無心塾杯争奪少年柔道大会
2012年12月22日(日) 於.茨城県武道館



高学年の部
優勝!
低学年の部
優勝!
(低学年は大会4連覇)

小川道場支援会募集中

株式会社 今出川建設/株式会社 エバーグリーンホーム/株式会社 湘南マツダ
ウスイホーム 株式会社/株式会社 嘉穂/上野住設 株式会社/株式会社 サトウ



お客様の笑顔の追求こそ、私たちの使命。

時代の変遷の中で創造と挑戦を繰り返して、
お客様の笑顔のために「誠実」な
企業であり続けたい。



●印刷全般●販促広告専門印刷●販促全
般のサポート●広告全般のプランニング・
デジタルデザイン●オリジナルCD-ROM
制作●オリジナルホームページ制作・
メール配信●会員管理システムの企画
及び販売●総合広告代理業



本 社
〒373-0019 群馬県太田市吉沢町1035-5
TEL.0276-37-8800(代) FAX.0276-37-8811
東京支店
〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂一丁目20番8号 南パークビル9F
TEL.03-5456-1019(代) FAX.03-5456-1024

さいたま営業所
〒339-0056 埼玉県さいたま市岩槻区加倉一丁目31番63 日本システムハウス(有)2F
TEL.048-749-8558 FAX.048-749-8559
宇都宮営業所
〒320-0847 栃木県宇都宮市滝谷町19-18 堀井ビル1F
TEL.028-610-9501 FAX.028-610-9502



お客様の**笑顔**のために。

いい家を作り続けることによって
未来の子供たちに**財産**を残していきます。



ライフスタイルに最適な自由設計の住まい
“大ちゃんのおうち”
株式会社 **大雄建設**



本社 足利支店 館林支店

本 社
〒373-0851 群馬県太田市飯田町964-8
TEL.0276-30-3755 FAX.0276-30-3766
佐野支店
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町3946-1
TEL.0283-20-1660 FAX.0283-20-1661
太田ショールーム
〒373-0851 群馬県太田市飯田町1262-10
TEL.0276-55-8001
伊勢崎支店
〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1654-1
TEL.0270-22-0555 FAX.0276-22-0500
足利支店
〒326-0814 栃木県足利市通2丁目2628-1
TEL.0284-20-2888 FAX.0284-20-1601
館林支店
〒374-0027 群馬県館林市富士見町9-8
TEL.0276-80-1855 FAX.0276-80-1859